

令和 6 年 2 月

橋本市教育委員会定例会会議録

令和 6 年 2 月 6 日

教育委員会定例会会議録

開催日時 令和6年2月6日(火) 午前9時30分～

開催場所 教育文化会館 4階 第5展示室

出席者 教育長職務代理者 田中 敬子
委員 中下 小夜 藪下 純男 吉田 元信
教育長 今田 実

出席職員 教育部長 堀畑 明秀 教育総務課 課長 岡 一行
学校教育課 課長 大谷 裕幸 生涯学習課 課長 長谷川 典史
中央公民館 館長 中田 幸 給食センター
学校教育課 センター長 井上 恵二
主任指導主事 岡村 孝之 参事(教育企画担当) 阪口 浩章
教育相談センター 教育総務課
センター長 森田 常義 課長補佐 中林 正

1 開会

2 前回会議録の承認について

3 会議録署名委員の指名について

4 報告事項

報告第1号 教育状況について

報告第2号 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果概要について

5 付議事項

議案第1号 橋本市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

継続審議 令和5年12月定例会議案第3号

橋本市立小中学校適正規模・適正配置(第2期)基本方針の策定について

6 その他

協議事項

連絡事項

教育長

おはようございます。
これから、令和 6 年 2 月定例会を開会します。
本日の出席委員は 5 名です。
前回の会議録の承認について、簀下委員、お願いします。

簀下委員

会議録は的確に記載されておりました。

教育長

ありがとうございます。
次に、今回の会議録署名委員は、中下委員にお願いします。

中下委員

承知しました。

教育長

報告第 1 号教育状況について、私から報告します。
令和 5 年度「きのくに読書活動優秀実践校表彰」及び「きのくに読書活動優秀実践者表彰」について報告します。これらの表彰は、令和 5 年度学校図書館教育実施状況調査に基づき選考されます。
本年度の「きのくに読書活動優秀実践校表彰」に隅田小学校が、「きのくに読書活動優秀実践者表彰」に紀見東中学校の一年生と二年生の生徒 2 名が選考され、表彰されることになりました。
隅田小学校は、落ち着いて図書に触れることが出来るようソファなどを配置した第二図書館を設置するとともに、読書に取り組んでいる様子が見えるように読書の木の取組みをするなど、ホールスクールで読書活動に取り組んでいます。その結果、令和 5 年 4 月から 11 月における児童一人当たりの読書冊数が 75 冊、今年度末までには 100 冊に達するほどの読書量となりました。紀見東中学校の 2 名の生徒は、400 冊程度の読書量を誇っています。学びのベースとなる読書活動が更に進むよう、これらの実践内容や成果について情報共有していきたいと考えています。
次に令和 6 年 2 月 3 日に行われました、第 51 回和歌山県学校歯科保健研究大会について報告します。本研究大会は行政、地域社会および学校の強力な連携のもと、保健教育・指導、保健管理、組織活動を積極的に推進するとともに、和歌山県における学校歯科保健活動の方向を明確にし、児童生徒の歯科保健の向上を図ることを目的に、県内の地方持ち回りで開催されています。本年度は、伊都地方の開催で、橋本市サカイキャニニング産業文化会館で行われました。開会式に引き続き、表彰式が行われ、令和 5 年度歯・口の健康に関する図画・ポスターの入選作品として、伊都地方からは、橋本さつき保育園の園児、隅田小学校児童、高野口中学校生徒が表彰されました。
その後、長崎市にある医療法人いけだ歯科医院副院長池田靖子さんの特別講演がありました。演題は、「不正咬合予防、身体育成につなげる歯科検診」でした。発達の順序性と段階を経た体全体の育ちに着眼した保育を行うことで、子どもに質の高い口腔機能の獲得、育成により、健康な生涯を生きる口を持つこと、そして子供

の心と身体を育てることを目標にした、こども園での実践が報告されました。歯科を切り口に、保育のプロフェッショナルの在り方について考える機会となりました。

続いて、城山小学校の佐藤加奈養護教諭が、「橋本市における学校歯科保健活動の取組～主体的・対話的で深い学びを意識した歯・口の健康づくり～」と題した実践発表を行いました。ライフステージ別の橋本市における歯科保健活動や、歯・口の健康に関するアンケートに基づく学校歯科保健全体計画の作成とカリキュラムマネジメント、紀見東中学校区4校合同保健委員会の開催、ICT機器を活用した歯みがき指導等について具体例を示しながら発表されました。

学校で組織的に、かつ中学校区の4校が連携する等、中学校区で児童生徒を育成することを意識し、成果を上げている実践報告でした。このように歯科保健の分野においても中学校区の学校が連携し、目指す子ども像に迫る橋本市の教育が目指す方向性に沿った実践が行われていることは、極めて意義深いものと考えます。他の学校にも伝える機会を持っていきたいと思います。

次に令和6年2月4日に行われました、第27回橋本マラソンについて報告します。今回の橋本マラソンは、885名の参加登録があり、また、大会運営に多くのボランティアの方々にもご協力いただきました。当日は、心配された天候も持ち直し、800m、2km、5km、ハーフマラソンの距離を設定し、19の部門で予定されたプログラムどおり開催することができました。今回は、久しぶりの表彰式も実施しました。参加いただいた方から、帰り際に「楽しく走らせていただきました。ありがとうございました。」「このコースは、最後の坂に挑戦する気持ちで参加しています。楽しませてもらいました。」などの声をいただきました。橋本マラソンのマイナスイメージがある部分をプラスにとらえることで、橋本マラソンを他の大会と区別するヒントにもなりました。頂いた声に感謝します。

橋本市陸上競技協会、橋本市青少年団体連絡協議会、橋本市体育協会、橋本市スポーツ少年団本部、伊都地方陸上競技協会、文化スポーツ振興公社、橋本市スポーツ推進委員の方々を中心に橋本マラソン実行委員会に参画いただいています。主催いただいた橋本マラソン実行委員の皆様には、何回も実行委員会を開き周到な準備をしていただきました。お蔭をもちまして無事終えることができました。そして多くのスポンサーの皆様には感謝申し上げます。橋本マラソンに関わっていただきました全ての方々に重ねて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

以上で教育状況について、報告を終わります。

このことについて、ご質問・ご意見はありませんか。

中下委員

私は「きのくに読書活動優秀実践校」や「優秀実践者表彰」について、聞かせていただいて、本当に大切な取組みだと感じました。

読書活動は子どもたちの学力向上や人格形成という、そういった意味での基盤になる大切な活動だと思っております。このように表彰いただくことで更にそういった読書好き、読書をすることでこんなに知識やいろんな考え方が広がっていく子どもたちが育っていくのかなという感想を持ちました。以上です。

教育長

ありがとうございます。

ちなみに隅田小学校の1人当たり75冊ですけれども、学校全体では約1万7000冊、この期間に読んでいると報告聞いております。学校全体で本当にしっかり取り組んでくれている様子がこの数字からも感じ取っていただけるのではないかと思います。

他にありませんか。

田中委員

同じく読書のことですが、隅田小学校に伺うと、下駄箱入ってすぐの職員室の前に読書スペースを作ってくださっていて、みんなが通る場所にちょっと気軽に座って、本に興味を持つような工夫がすごくされています。2階に上っても本がたくさん並んでいて、読みやすいような工夫がたくさんされていて、そういった活動が読書活動を促進することに繋がると思います。他の学校でも取り組んでくださっていると思いますが、そういった活動が広がっていったら良いなと思いました。

教育長

ありがとうございます。

図書ボランティアの方々にも多く協力いただいています。各学校では、「児童生徒の身近なところに本を置く。」ということを大切にしてくれていると思います。身近に本を見ることで、より子どもたちの注意が向き、興味が向くということがあられると思います。

私も学校へ行っていた時に、そういった活動を先生方とした記憶があります。これからも、こういった活動の実践共有をすることで、それぞれの良さを取り込みながら、各学校で取組みが充実することを願っているところです。

他にありませんか。

簗下委員

隅田小学校の第2図書館の設置というのはなかなか面白いなと思いました。ソファなど置いてリラックスして読書できるということだと思いますが、今は一般の図書館においてもカフェが併設されていたりして、お茶を飲みながら読書できるということもされているようです。そういった雰囲気づくりも良いなと思いました。

それと2月4日の橋本マラソンですが、前日に少し雪が降り準備も大変だろうなと思いましたが、当日も無事に開催できまして、本当に良かったなと思います。準備から運営まで本当にいろいろご苦労様でした。

吉田委員

今簗下委員が言われた第2図書館の設置について、私もこれは良い取組みだと思います。他の学校でも同じような取組はあるのでしょうか。私自身20年以上前、ニューヨークのロックフェラー大学に客員教授として半年ほど行っていたときに、本屋に椅子が設置されていて、飲み物が飲めるような状況であり、本が非常に身近にあるという状況であった。やっぱりアメリカの大学というのは、非常に図書館っていうところに個人が学べる個室みたいなところがあり、24時間開いているところがある。すごく充実していて、びっくりしました。そういう形のことが、徐々に進行してきているなというふうに思います。日本の状況も本屋で椅子があり、各学校での図書室もそういう方向にあることは非常にいいことだなと思います。

同じように橋本のマラソンについてなんですけれども、885 人の参加、昨年に比べて少ないですが、いろんな影響があったかなというふうには思いますけれども、ちょっと天候の心配された状況があったんですけれども、無事に開催でき、終了できたということは非常によかったと思います。

学校教育課長

ただいまの吉田委員のご質問にお答えさせていただきます。

まず隅田小学校の第 2 図書館、本当に、校長先生はじめ、地域の方々、図書ボランティアの皆さんの熱い思いと、そしてスペースがあったということで、それが重なって実現してきたものだというふうに聞いております。

他校につきましては、第 2 図書館というような形での取組はなされてはないというふうには聞いております。ただ、身近なところに本があるっていうのは、どこの学校でも、廊下であったり、それから紀北工業高校の生徒が作った本棚を各中学校が昨年から今年にかけていただきまして、それを生徒が見れるような、また、簡単に本に触れられるような場所に設置したり、本と親しめるような環境づくりっていうのは、それぞれの学校で工夫してされているというふうに伺っております。

教育長

補足ですけども、図書館を 2 ヶ所に分けて設置しているっていう学校はあります。そこを今回隅田小学校で取り組んでいるような第 2 図書館という位置付けとまるっきり同じかと言ったら、意味合いも少しは違うんですが、分けているという学校もあります。それと、今学校教育課長が言ったように、いろんな形で、子どもが身近なところで本に触れるようなコーナーは、それぞれ本当に工夫して作ってくれているのかと思います。

田中委員

ちょっと聞かして欲しいのですが各教室に、学級図書のような、何冊か置いてくださってあると思うんですが、それは、その担任の先生が選んでくださるのか、図書館司書さんと連携して選んで置いてくださっているのか。今はどんな連携とられているのでしょうか。

学校教育課長

それぞれの学校によって、差異はあろうかと思うのですが、例えば、学校司書さんが選んでいただいたものの中から、市立図書館で集団貸出していただいたものを、教室に置いているというのもございます。また担任の先生が、選んで、そしてそれを、それぞれの教室に発達段階に応じた本を置かしていただいているというような状況でもあります。それぞれの学校で、異なっていると思います。

田中委員

せっかく学校に図書館司書さん来てくださっているんで、担任の先生プラス、司書さんのお勧めするものであったり、また、生徒さんたちの、こんな本を読みたいっていう要望の本を、近くに置いていただけたらいいなと思います。お願いいたします。

教育長

他にありませんでしょうか。

ないようですので、報告第 1 号を終わります。

次に、報告第2号に入ります。

報告第2号、令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果概要について報告をお願いします。

学校教育課
主任指導主事

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果概要について報告します。初めに、体格についてです。資料の2-3をご覧ください。

小学校5年生の男女とも、体格は全国平均と同程度で、肥満度を見ると、普通が多いことがわかります。

続いて2-4をご覧ください。中学校2年生の男女とも体格は全国平均と同程度で、肥満度を見ると、中度軽度肥満が多いことがわかります。

次に、実技についてです。資料の2-5をご覧ください。小学校5年生、男子、女子は、体力合計点で、全国平均を上回っています。また、男子のA B判定者から、D E判定者を引いた値は、本市で3.9%であり、全国平均に対してプラス7.5%、及び県平均に対してプラス2.7%と高い値を示しています。女子では27.6%と全国平均に対してプラス19.7%及び県平均に対して、プラス13.6%と、非常に高い値を示しています。男女ともに、反復横跳び及び立ち幅跳びの結果が良かったと考えられます。一方で、長座体前屈、柔軟性に課題が見られました。

次に、資料の2-6をご覧ください。中学校2年生男子、女子は体力合計点で、全国平均を上回っています。また、男子のA B判定者からD E判定者を引いた値は、7.2%。全国平均に対してプラス7.2%及び県平均に対してプラス4.5%と高い値を示しています。女子は37.3%と全国平均に対してプラス3.5%及び県平均に対してプラス3.7%と、これも高い値を示しています。男女ともに50メートル走及びソフトボール投げの結果が良かったことがわかります。あえて課題を挙げるとすれば、女子の上体起こし、筋持久力の部分と、20メートルシャトルラン、持久力に課題が見られました。資料2-7、2-8にそれぞれの各項目の結果をまとめています。

次に、資料2-10をご覧ください。平成30年度から令和5年度の体力合計点を学年間で比較すると、全国及び県の結果を見ると、平成30年から、体力合計点が、低下傾向にあり、昨年から本年は、ほぼ横ばいで推移しています。しかしながら、本市においては、令和元年から令和3年にかけて、低下傾向にあった小学校女子で改善傾向が見られています。

次に、質問紙調査についてです。資料の2-11、2-12をご覧ください。運動をすることが好き。運動は大切なものですか。体育の時間は楽しいですかという質問の結果を示しています。全国及び和歌山県の平均に比べ、肯定的な回答が下回る現状であることがわかりました。

次に、資料2-13をご覧ください。運動時間については、全国及び和歌山県と、比較し、同様の結果となりました。中学校において、月曜日及び日曜日の運動時間の少なさは、伊都地方で定める部活動休養日を守り、本市の部活動が活動していることがわかります。

最後に、本年度の調査結果では、実技の調査結果と質問紙との関連において、楽しいと感じる児童生徒は、運動時間が長く、総合評価、体力合計点が高いということが、全国調査で明らかになっています。本市においては、今後も学校の体育の授

業や部活動において、スポーツが好き。スポーツが大切。スポーツが楽しいと、児童生徒が感じる機会を増加させる取組が重要であり、運動の魅力を伝え、運動が児童生徒の生活の一部になるよう、取組を進めていきたいと思います。

教育長 このことについて、ご質問ご意見はありませんか。

吉田委員 資料 2-6 の図の見方を確認させてもらいたいのですけれども、中学校女子が、全国は 33.8、和歌山県が 33.6、橋本市が 37.3%っていう、中学男子と比べたら、かなり高いのですけれども、ここ数値の高さについては、何か評価があるわけですか。

学校教育課
主任指導主事 中学校の男子と女子の体力合計点の結果の点数の差について説明させていただきます。男子の方で見ると、全国が 0.0%、和歌山県で 2.7%、橋本市で 7.2%となっています。男子のテストは、比較的 A 及び B の判定を取ることが難しい。テストの得点の付け方で比較的難しいテストになっています。それに比べて、女子の結果を見ると、全国で 33.8%、和歌山県で 33.6%、本市で 37.3%ということで、比較的女子は A 及び B の判定が取りやすいテストとなっています。そのため、今回、本市だけの結果を示すのではなく、全国値及び和歌山県の値と比較するという形で報告させていただきました。

吉田委員 結局、男女の違いうところがあるんですけども。男女の違い、点数配分としては、A、B のスコアを取る女子の方が、高い値をとる、競技であったということですか。

学校教育課
主任指導主事 例えばですが、50 メートル走のタイムで、女子が 8 秒で 10 点とされているのは、比較的中学生女子にとっては、取りやすい。それぞれの項目の点数が取りやすいと、男子にとっては、7 秒で、例えば 10 点とされていると、これは比較的中学生男子にとって 7 秒は取りにくいという、国のそれぞれの体力の配点自体が、取りやすいものと取りにくいものというような形で男女に差が生まれています。

吉田委員 そしたら女子のパーセンテージが必ずしも高いから、中学女子の体力が、男子に比べて非常に増してきたという評価にはならないわけですね。

学校教育課
主任指導主事 男子に比べ女子の体力が非常に高いという結果ではありません。対全国比のところを見ていただくと、男子でプラス 7.2。女子の方でプラス 3.5。こういう全国比較と比べていただくと、今回中学 2 年生の男子は全国に比べて 7.2%も高かったということで、男子の方が、実は成果として上がっているのだということがわかります。

簀下委員 貴重な資料ありがとうございました。この中学校男子の A 判定をとる子というのは、その学校で言うたらスーパースターみたいなスーパーマンですね。そんな子を

イメージしてもらったら、例えば大谷翔平が、中学生だったらそんな感じとか。あんまり各中学校のA判定出るのは稀というか、難しいです。そんなイメージかなと思います。Bでもかなりの子だと思います。

教育長

それでいいですよと、橋本市の場合は、A及びBが全国、また和歌山県に比べて多いということは、すごく頑張っている。能力高い子が多いというふうに、そんなふうにとらえていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

他にないでしょうか。

ないようですので、これで報告第2号を終わります。

報告事項が終わりました。

続いて付議事項に入ります。

本日の議案第1号並びに、継続審議については、橋本市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議を非公開としたいと思います。

よろしいでしょうか。

異議なしと認めます。

議案第1号並びに継続審議については非公開とします。

次に、その他協議事項に入ります。まず委員の皆様からありませんか。

事務局からありませんか。

続いて、連絡事項に入ります。まず委員の皆様からありませんか。

次に事務局からありませんか。

教育総務課
課長補佐

それでは連絡事項です。

まず、教育委員会会議の日程のご連絡です。

今月2月26日、臨時会を開催したいと思います。

2月26日月曜日の午後3時から、場所が教育文化会館の2階の応接室です。

来月3月の定例会のご案内です。

3月26日火曜日、午前9時30分から、場所は教育文化会館の4階の第5展示室でお願いします。

続きまして、教育功労賞の表彰式です。

2月20日火曜日、午前9時から、場所は教育文化会館の2階の応接室です。

なお、功労者表彰式終わった後、10時から3褒賞の表彰式へのご出席もお願いいたします。

連絡事項につきましては以上です。

教育長

そしたら、それぞれの会への出席方、よろしくお願いいたします。

他にありませんか。

それではこれをもって2月定例会を終了いたします。

閉会します。

お疲れ様でした。

閉会 午前 12 時 38 分

署 名 委 員